

施策番号	1101		
施策名	京都で学び、住み続けたいなる「大学のまち」の実現		
概要	世界中の学生が学びたいなる「大学のまち京都」を実現するため、大学施設の拡充と市内への回帰を促すとともに、個性あふれる大学が集積している利点を生かして、「学びの環境」を充実する。		
担当局・部室	総合企画局・市民協働政策推進室	共管局・部室	
上位政策	11 大学		
施策に関する主な分野別計画等	大学のまち京都・学生のまち京都推進計画		

施策の評価

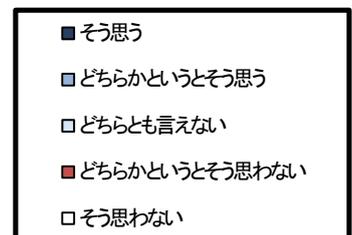
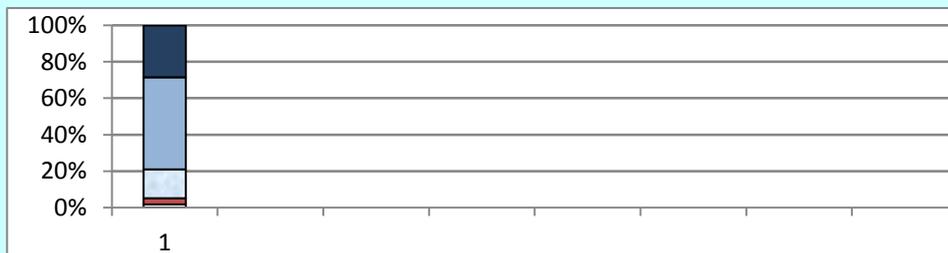
1 客観指標評価

指標名	23年度	24年度	25年度評価						
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト	
1 市内の大学・短期大学における市民向け公開講座の実施率(%)	b	a	100	100	100.0	100.0%	a	1.00	
2 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
3 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
		b	a	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	25年度回答						有効回答者数	評価
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない			
1 京都は、「大学のまち」として学びの環境が充実し、多様な伝統文化芸術等に触れる機会に恵まれている。	151	268	84	18	9	530	a	
	28.5%	50.6%	15.8%	3.4%	1.7%			
2 -							-	
3 -							-	
4 -							-	
5 -							-	
						市民生活実感調査総合評価		a



3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

A	施策の目的が十分に達成されている					24 年度	A
	重み付け	<input type="checkbox"/> 客観指標	a	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の実感	a		
(重み付けの理由) 学生や市民が京都で学び住み続けたいくなることを目指す施策であるため、市民の実感を重視する。						23 年度	A
(原因分析) ・公開講座を開講する大学数及び京(みやこ)カレッジ(社会人を対象に、京都地域にある大学・短期大学が正規科目や教育講座を提供する生涯学習講座)への科目提供校が、昨年度に引き続き目標値を達成し、a評価となった。個性あふれる大学が集積している利点を生かした、「学びの環境」の充実が進んでいる。 ・市民の実感について、肯定的な回答が8割近くに上ることから、多くの方が「大学のまち京都」でのくらしに愛着を感じていることがうかがわれる。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		25年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		24年度 決算額	25年度 予算額		
1	未来の京都創造研究事業	44,348	30,884	良い	総合企画局
2	大学施設整備支援誘導事業(旧大学政策情勢分析調査)	14,259	10,388	良い	総合企画局
3	大学コンソーシアム京都との協働による大学政策の推進	10,056	9,350	良い	総合企画局
4	大学のまち交流センター(キャンパスプラザ京都)	189,461	189,856	—	総合企画局
5	大学のまち京都・学生のまち京都次期基本計画策定	—	11,213	—	総合企画局
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・引き続き、各大学に公開講座の開講や京(みやこ)カレッジへの科目提供を働き掛けるとともに、受講生にとって、より分かりやすく、また、毎年好評いただいている京都力養成コース「京都学講座」をはじめとした京都ならではの科目など、多様な魅力を広報することで、個性あふれる大学が集積している利点を生かした「学びの環境」の充実に取り組んでいく。

施策名	1101	京都で学び、住み続けたいくなる「大学のまち」の実現				
指標名	市内の大学・短期大学における市民向け公開講座の実施率（％）					
担当課	市民協働政策推進室	連絡先	222-3103			
1 指標の説明						
市内の大学・短期大学において、市民向けに公開講座を実施している割合						
2 指標の意味			3 算出方法・出典等			
「大学のまち京都」の活性化に向けた「学びの環境」の充実状況を示す指標			出典：（公財）大学コンソーシアム京都，市民協働政策推進室調べ			
4 数値						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	23年度	24年度		数値	根拠	達成度
数値	100	100	増減なし	100.0	市内の大学・短期大学の全てで市民向けに公開講座を実施	100.0%
	全国順位	中長期目標			備考	
		数値	目標年次	達成度		
数値		100%	32年度	100.0%	市内の大学・短期大学の全てで市民向けに公開講座を実施	
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果		
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：95%以上～100%未満 c：90%以上～95%未満 d：85%以上～90%未満 e：85%未満		・目標値を達成すればa評価 ・以下5%刻みでb～e評価		23	24	25
				b	a	a